

## -運動器 脳卒中 呼吸-認定理学療法士 臨床認定カリキュラムの開催案内

### はじめに

認定理学療法士は日本理学療法士協会の資格制度において、専門性を高めていくことを目的とした制度です。認定理学療法士の新規取得のためには、全国に設置された教育機関で臨床認定カリキュラムを受講する必要があります。

当県士会では、運動器、脳卒中、呼吸の3領域の認定理学療法士の教育機関として認定を受け、下記の通り、オンライン（LIVE形式、zoom使用で認定理学療法士臨床認定カリキュラムの研修を開催いたします。

### 各領域の開催期間、申込締め切り

- ① 運動器 : 2023/8/19-20, 9/2-3 (計4日間) 申込締切 : 2023/6/30
- ② 脳卒中 : 2023/8/26-27, 9/9-10 (計4日間) 申込締切 : 2023/7/31
- ③ 呼吸 : 2023/10/14-15, 10/28-29 (計4日間) 申込締切 : 2023/8/31

**\*各領域で申込の締切日が異なりますので、ご注意ください。**

開催時間 : 9:10~17:50

対象 : 登録理学療法士取得者

受講費 : 20,000 円

募集定員 : 50 名 (最少催行人数 10 名) \* 先着順

**\*開催時間、対象、受講費、募集定員は3領域とも共通となります。**

### 申し込み方法

必要事項（申込希望の領域、会員番号、氏名、生年月日、所属）を記入の上、下記メールアドレスまでお送りください。また、登録理学療法士認定証をダウンロードし添付してください。最少催行人数に達した時点で、申込をいただいた方に順次入金手続き等をご案内いたします。入金後のキャンセルについては、返金は出来ません。また、最少催行人数に満たない場合は開催できませんので、ご了承ください。

福井県理学療法士会のホームページ上 (<http://www.fpta.or.jp/>) にも情報を掲載しておりますので、そちらもご確認ください。

### 問い合わせ先

福井県理学療法士会 学術局研修管理部 板倉史晃

メールアドレス : [itakura.fumiaki2018\(a\)fukui.saiseikai.or.jp](mailto:itakura.fumiaki2018(a)fukui.saiseikai.or.jp)

(送信の際には(a)→@に変換していただきますようお願いいたします。)

2023年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラム（運動器） 講師一覧

	科目名	科目種類	講師氏名	職種	所属
1	正常な構造・機能と疾病の基礎	必須	武村 啓住	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
2	医学的診断と治療介入	必須	川原 誓子	理学療法士	金沢医科大学 病院
3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	必須	大谷 浩樹	理学療法士	福井総合病院
4	疾患によって生じる障害とその評価および 予後予測	必須	成瀬 廣亮	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
5	筋力評価の方法と筋力増強のメカニズム	必須	小柴 めい	理学療法士	福井総合病院
6	関節可動域制限の要因と治療手技	必須	姉崎 竜馬	理学療法士	福井総合病院
7	運動器疼痛の評価と理学療法	必須	松尾 英明	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
8	骨折・外傷後の治癒過程と理学療法	必須	中山 泰博	理学療法士	福井赤十字病院
9	変形性関節症の理学療法	必須	川端 克明	理学療法士	福井総合病院
10	筋・腱・靭帯損傷後の外科的治療と理学療法	必須	鯉江 祐介	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
11	末梢神経障害の理学療法	必須	河原 智美	理学療法士	福井県立病院
12	自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	必須	松尾 英明	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
13	発症予防、重症化予防、再発予防	必須	久保田 雅史	理学療法士	金沢大学
14	患者・家族教育の意義とその方法	必須	塚本 和也	理学療法士	春江病院
15	社会資源の活用	必須	久保 直之	理学療法士	福井総合病院
16	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1） （運動器画像評価の実際）	選択	久保 直之	理学療法士	福井総合病院
17	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2） （肩関節疾患の機能解剖と理学療法）	選択	久保 憂弥	理学療法士	福井総合 クリニック
18	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4） （股関節疾患の機能解剖と理学療法）	選択	齊木 理友	理学療法士	福井医療大学
19	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編5） （膝関節疾患の機能解剖と理学療法）	選択	松儀 怜	理学療法士	春江病院
20	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編8） （多関節運動連鎖の評価と理学療法の実際）	選択	大谷 尚史	理学療法士	嶋田病院

\* 選択科目のうち、以下の科目は未開講となります。

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3）（脊椎疾患の機能解剖と理学療法）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編6）（足関節疾患の機能解剖と理学療法）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編7）（姿勢・歩行の評価・分析と理学療法の実際）

## 2023年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラム（脳卒中） 講師一覧

	科目名	科目種類	講師氏名	職種	所属
1	正常な構造・機能と疾病の基礎	必須	中川 寛紀	理学療法士	福井県立病院
2	医学的診断と治療介入	必須	中川 寛紀	理学療法士	福井県立病院
3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	必須	北出 一平	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
4	疾患によって生じる障害とその評価および 予後予測	必須	竹下 和良	理学療法士	金沢古府記念 病院
5	脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法	必須	堀田 博之	理学療法士	石川県済生会 金沢病院
6	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法	必須	水上 保孝	作業療法士	福井厚生病院
7	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法	必須	仲川 仁	理学療法士	老人保健施設 チューリップ苑
8	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	必須	津嶋 勇一	理学療法士	福井総合病院
9	機能回復と日常生活活動自立に向けた 回復期理学療法	必須	池田 拓矢	理学療法士	嶋田病院
10	在宅生活の充実と社会参加のための 生活期理学療法	必須	豊岡 功	理学療法士	株式会社 ほっとリハビリ システムズ福井
11	終末期における理学療法	必須	小澤 純一	理学療法士	福井県立病院
12	自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	必須	寺西 正辰	理学療法士	福井総合病院
13	発症予防、重症化予防、再発予防	必須	布上 隆之	理学療法士	武内クリニック TAKEPON
14	患者・家族教育の意義とその方法	必須	恩田 めぐみ	理学療法士	福井県立病院
15	社会資源の活用	必須	田村 梨華	医療ソーシャル ワーカー	福井大学医学部 附属病院
16	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2） （リスク管理の実際）	選択	石黒 幸治	理学療法士	富山大学附属 病院
17	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3） （歩行再建の実際）	選択	津嶋 勇一	理学療法士	福井総合病院
18	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4） （ニューロモデレーションの実際）	選択	藤田 和樹	理学療法士	福井医療大学
19	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編5） （装具療法の実際）	選択	岡田 宏之	理学療法士	嶋田病院
20	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編6） （上肢トレーニングの実際）	選択	酒井 涼	作業療法士	福井医療大学

\* 選択科目のうち、以下の科目は未開講となります。

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1）（脳画像評価の実際）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編7）（ロボット療法の実際）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編8）（予後予測の実際）

## 2023年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラム（呼吸） 講師一覧

科目名		科目種類	講師氏名	職種	所属
1	正常な構造・機能と疾病の基礎	必須	亀井 健太	理学療法士	シンシア訪問看護 ステーション
2	医学的診断と治療介入	必須	清水 浩介	理学療法士	福井循環器病院
3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	必須	福田 紗恵子	理学療法士	富山大学附属 病院
4	疾患によって生じる障害とその評価および 予後予測	必須	野々山 忠芳	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
5	慢性閉塞性肺疾患患者に対する呼吸理学療法	必須	山本 康貴	理学療法士	林病院
6	間質性肺疾患患者に対する呼吸理学療法	必須	高山 マミ	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
7	人工呼吸器管理患者に対する呼吸理学療法	必須	野々山 忠芳	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
8	神経筋疾患患者に対する呼吸理学療法	必須	亀井 健太	理学療法士	シンシア訪問看護 ステーション
9	肺炎・無気肺に対する呼吸理学療法	必須	石田 登貴代	理学療法士	福井総合病院
10	外科手術後の呼吸理学療法	必須	堀田 和孝	理学療法士	福井県立病院
11	終末期における理学療法	必須	松井 文昭	理学療法士	杉田玄白記念 公立小浜病院
12	自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	必須	安竹 正樹	作業療法士	福井大学医学部 附属病院
13	発症予防、重症化予防、再発予防	必須	牧野 富美枝	看護師	福井勝山総合病院
14	患者・家族教育の意義とその方法	必須	西潟 美砂	理学療法士	福井循環器病院
15	社会資源の活用	必須	三嶋 一輝	医療ソーシャル ワーカー	福井大学医学部 附属病院
16	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1） （画像評価の実際）	選択	清水 浩介	理学療法士	福井循環器病院
17	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2） （呼吸障害把握のための身体所見のとりかた）	選択	山本 浩貴	理学療法士	林病院
18	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3） （運動耐用能評価の実際）	選択	鯉江 祐介	理学療法士	福井大学医学部 附属病院
19	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4） （ADL・QOL 評価の実際）	選択	安竹 正樹	作業療法士	福井大学医学部 附属病院
20	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編6） （運動療法の実際）	選択	相良 絵利華	理学療法士	福井医療大学

\* 選択科目のうち、以下の科目は未開講となります。

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編5）（コンディショニングの実際）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編7）（排痰法の実際）

疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編8）（吸引の実際）